

安全だより

安全就業 3-4号

季節のたより



静岡県熱海市で起きた大規模な土石流は、山間上部の盛り土が起因になったとみられています。谷を埋める盛り土は山梨県内でも少なくはなく、土石流に関する警戒区域は 2,442 ヶ所に上ります。

住民の安全に大きな危害が及ぶ恐れのある「土砂災害特別警戒区域」は 6,024 ヶ所あり、最も多いのは身延町で931カ所。大月市852カ所、上野原市656カ所などと続きます。

関東甲信地方の梅雨明けは、平年7月21日ごろ、昨年はおそく8月1日頃でした。

梅雨が明けると本格的な夏の到来です。梅雨明けの暑さは格別なものがありますし、身体が夏の暑さに慣れていないので作業するときは十分注意しましょう。

そこで、暑さ対策として、まず水分をこまめに補給し、涼しいところで休憩するなど、熱中症にならないように注意しましょう。

◇ 夏の交通事故防止県民運動 ◇

令和3年7月21日（水）～8月20日（金）までの31日間、山梨県交通安全対策本部の主唱により、「夏の交通事故防止県民運動」が実施されます。

この運動は、児童、生徒等の夏休みと夏の行楽シーズンが重なり交通事故が発生しやすくなる夏季において、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を徹し、交通事故防止を図ることを目的としています。

当センターも、会員みなさまに、仕事の行き帰りの他、外出の機会が増えるこの時期、事故の無いよう、事故防止にご協力をお願いいたします。

令和 3年7月15日

公益社団法人 東部広域シルバー人材センター

◇7月は安全・適正就業強化月間です◇

7月は、全国シルバー人材センター安全・適正就業強化月間です。

シルバー人材センター事業は安全に就業することが第一であり、安全・就業のより着実な成果を期すために、この7月、当シルバー人材センターの安全委員会では安全パトロールを実施して安全意識の高揚を図り、事故防止に努めています。

就業に際しては、機械器具の点検や安全保護具の点検整備を必ず実行して下さい。

特に植木の剪定などの高所作業や、草刈り作業を行う際には必ずヘルメットを着用するようお願いいたします。

また、令和2年度の全国統計を見ますと重篤事故のうち、4割が就業途上に発生しておりますので交通ルールを守り、自らの体力を過信することなく、周りに十分注意を払うようにして下さい。

《熱中症に注意しましょう》

熱中症は、暑さに慣れない7月が一年のうちで一番多く、野外より屋内のほうが多く発症しています。熱中症は体の中と外の暑さによって水分や塩分が過度に失われることで「だるさ・めまい・けいれん」等を引き起こし、ひどい場合は意識を失い死亡する危険性があります。

予防には次のことが有効です。

- ☆ こまめに水分・塩分をとる
- ☆ 休憩は風通しの良い涼しい場所で
- ☆ 睡眠不足・疲労は大敵
- ☆ できるだけ涼しい服装を

「いつまでも、働く喜び、無事故から」

(令和2年度から4年度まで安全就業全国統一スローガン)